

白樺



白樺学園高等学校
河西郡芽室町北伏古東7線10番1
TEL(0155)62-7411
FAX(0155)62-7412
E-mail info@shirakaba.ac.jp



苫小牧市白鳥アリーナにて 撮影 写真部顧問 荘司 裕

アイスホッケー部 氷上の甲子園！全国選抜大会 二年ぶり二回目の優勝！

「全タイトル
獲得へ向けて」

アイスホッケー部主将
三年 志賀 祥樹
(体育コース・帯広第八中学校出身)

八月十日苫小牧市白鳥アリーナで第九回全国選抜大会決勝が行われました。決勝の駒大苫小牧戦は、一点リードで迎えた第三ピリオドの試合終了間際に同点に追いつかれる苦しい展開になりました。延長戦でも勝利は決まらず、ゲームウィニングショットの末、優勝することができました。

しかし、優勝こそできたものの、四試合で計七失点といった守備での課題が残りました。勝つためには「守れるチーム」にならなければいけません。接戦になったときに競り負けてしまからです。「守れないチームは、今は勝つていてもいつか崩れる」という危機感が生まれ、今後の課題をはっきり自覚することになった大会でした。

白樺学園のアイスホッケー部は、リンクも学校のすぐ近くにあり、恵まれた練習環境にあります。秋から冬にかけてのこの時期に、この練習環境を生かし、課題の克服や、個々の技量や体力を上げ、さらにレベルアップしていきたいです。

今年の目標は「全タイトル奪取」「三年連続五回目のインターハイ優勝」です。昨年達成できずに終わった「全タイトル奪取」は、一年間ずっと勝ち続けるという意味では、とてつもなく大きな目標です。そんな大きな目標を立てたからには、全国選抜大会での優勝に安心してはいる訳にはいきません。氷上練習はもちろん、陸上トレーニングでも妥協せず、三年連続五回目のインターハイ優勝というまだ白樺学園が果たしたことがない、一番の目標を達成したいです。そして、これらの目標を達成することが、自分達をずっと指導して下さっている湊谷監督への恩返しになると思っています。

これからも応援よろしくお願いします。

吹奏楽部 三年連続全道大会出場！ 二年連続銀賞受賞！

「心から音楽を
楽しんでこそ」

吹奏楽部部長
三年 土井 駿人
(進学・教養コース・芽室中学校出身)



札幌コンサートホールKitaraにて 写真提供 株式会社フォトライフ

私達吹奏楽部は、「聞いて下さる方々に、感動して頂ける様な演奏をすること」を目指し、日々活動してきました。

私が一年生の時には十二人だった部員は今では二十七人になりました。

第五十九回帯広地区吹奏楽コンクールでは、金賞を頂き、三年連続で全道大会へ進出する事が出来ました。

全道大会では、私達が目標としていた金賞をもらうことはできませんでしたが、顧問の先生、部員一同が楽しく演奏をする事が出来ました。先生方や保護者の方々をはじめ、生徒のみなさんや地域の方々の応援があったからこそ、楽しく自分達らしい演奏ができたと思っています。ありがとうございます。

私が白樺学園の吹奏楽部に入って学んだこと、そして演奏を続ける中で支えになったことは「演奏者が心から音楽を楽しんでこそ、聞いて下さる方に感動して頂くことが出来る、それが拍手につながる」ということでした。目標は達成できなかったものの、三年連続で全道大会に出場できたのは、このことがあったからだと思っています。次は、後輩達が金賞を取ってきてくれることを期待したいと思います。

今年度、私達は様々な場所で、幅広い年代の方々に演奏を聴いて頂きました。演奏が終わった後、お客様から「良かったよ」と声をかけて頂ける事を本当に嬉しく思っています。

このような喜びや学びを与えてくれた白樺学園の吹奏楽部に入部し、また、白樺学園に入学できて本当によかったと思っています。白樺学園吹奏楽部は、これからも様々な活動をしていくので、ご支援の方よろしくお願いたします。

陸上競技部

二十一年連続インターハイ出場!

「感謝することの多かったインターハイ」

陸上競技部主将

三年 上山 竜平

(体育コース・帯広第二中学校出身)

陸上競技部は、今年、二十一年連続でインターハイに出場し、過去には二人の優勝者を出しています。また、毎年十名以上の部員が出場しており、今年もちょうど十名が出場しました。

しかし、最近では、予選落ちが続く、準決勝、決勝へと進めず、悔しい思いをしています。私は、去年の全道大会でいつも通りの結果を出すことができず、走り幅跳びでのインターハイ出場は果たせなかつたこと、さらに、今年度から主将として他の部員を引っ張って行く立場になり、予選落ちという悪い流れを何とか変えるために、インターハイで入賞することを目標に、練習していました。

そして、本番では、体に疲れが残らないような環境を奥泉先生が作って下さったことや、開催地である山梨県の気候が自分に合っていたこと、

コンディショニングも上手くでき、いつも以上に体が動き、六位入賞を果たすことができました。これで後輩達に良い刺激を与えることができたと思います。後輩達には、来年のインターハイでも十分に戦える力を持った選手が多いので、期待してほしいです。

私が六位になることができたのは、精神的な面で支えてくれた三年生と、マッサージをしてくれたり、氷のうを作るなど、体の状態を整える手助けをしてくれた一、二年の後輩達、どんなときでも見捨てずに、動きの中でできていないところについて、どうすれば良い動きになるかと教えて下さった先生方のおかげです。本当に感謝しています。

白樺の陸上競技部はこのように良いところがあり、辛い練習のときも声をかけ合って、楽しく練習することができ、部活動です。また、一人一人

本校は、教育目標を「確かな学力と豊かな心、強い体を持つ生徒の育成」、「社会の変化に対応し、逞しく生き抜く力を備えた生徒の育成」、「真の文武両道を目指す生徒の育成」、「明るく挨拶の出来る生徒の育成」として、今年度スタート致しました。実践目標は「全ての生徒に親切的な教育、楽しく魅力のある学校生活を実現する」となっております。今年度のこれまでの生徒の活躍と致しましては、七月の白樺祭で、三年C組が総合優勝し、四位までを三年生が独占するという結果でした。

部活動の活躍もめざましいものがありました。体育コースの方では、アイスホッケー部が、全国選抜大会において優勝し、陸上競技部の上山竜

平主将は山梨県で行われたインターハイで走り幅跳び六位入賞を果たしました。

進学・教養コースでは、九月に、吹奏楽部が三年連続C編成の部で全道大会に出場、銀賞を受賞しました。写真部、テニス部、弓道同好会も全道大会へ進みます。

学習面では、四月から始まった放課後講習に加え、夏休み中には夏期講習会も開かれ、多数の生徒が参加し、それぞれの目標に向かって努力を続けております。

今後、生徒それぞれの目標実現に向け、教職員は「一丸となって、指導に携わってまいります。今後ともご理解ご協力の程、宜しくお祈り致します。

「高等学校における特別支援教育」特別支援教育の現在と、十勝管内の現状について

北海道中札内高等養護学校教諭 特別支援教育コーディネーター 齊藤 健太郎 様

公開授業と合評会

公開授業合評会報告



山梨中銀スタジアムにて撮影 陸上部顧問 奥泉 慶泰

御挨拶 校長 平井 弘幸

校内教員研修



本校の校内教員研修は、全教職員を対象に、年二回を基本に実施されております。

今年度実施されました研修について、お知らせ致します。

生活指導部主催校内研修

日程 七月十七日(木)

第一部 薬物乱用防止に関する集会 (生徒及び教職員対象)

第二部 「SNS利用におけるトラブル対応」

・SNSによる、生徒の個人情報流出等のトラブルについての現状と対応・防止策について

講師 十勝毎日新聞社取締役 デジタルメディア局長 伊東 肇 様

教務部主催校内研修

日程 六月十一日(水)

第一部 公開授業と合評会

第二部 「高等学校における特別支援教育」特別支援教育の現在と、十勝管内の現状について

講師 北海道中札内高等養護学校教諭 特別支援教育コーディネーター 齊藤 健太郎 様

公開授業合評会報告

公開授業合評会報告

公開授業合評会報告

公開授業合評会報告

公開授業合評会報告

公開授業合評会報告

公開授業合評会報告

公開授業合評会報告

平成十五年卒業の辻麻希です。まず初めに、ソチオリンピック出場の際は多大なるご声援ありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

私は、幼少期からスピードスケートをやっていました。受験高校を選ぶにあたり、いろいろ迷いはありましたが、オリンピック出場者を多数輩出しているということ、スケートの名門校であるということ、そのような素晴らしい環境でスケートをやりたいと思い白樺学園の体育コースを選びました。正直、上下関係も厳しいし、練習もとても厳しかったです。しかし、それ以上に得られる喜びや楽しさはたくさんありました。礼儀や常識を自然と身につけてもらえました。体育コースには専攻体育の授業があったり、学校がリンクから近かったり、

スケートをやるには最高の環境でした。また、種目は違えど、切磋琢磨し合い、励まし合いながら全道・全国・世界を目指して頑張ることが出来た最高の仲間たちに出会えたのも白樺ならではの良いところだと思っています。先生方にはたくさん迷惑もかけたかと思いますが、卒業して何年もたつ今でも声をかけて頂いたり、応援して頂いて、本当に感謝しています。

私は社会人十年目にしてようやくオリンピックの切符を手に入れることが出来ました。「諦めなければ夢は叶う」と思った瞬間でした。何か一つでいいです。大きくても小さくてもいいです。目標や夢を持って全力で突っ走ってください。あなたたちの力は無限大です。私はあなたたちを全力で応援します。



諦めなければ夢は叶う

辻 麻希 さん

平成15年度体育コース卒業。帯広市立緑園中学校出身。現在、医療法人社団博愛会開西病院に所属し、2014年ソチオリンピックで、スピードスケート女子500/1000メートルに出場。

交通安全集会

「命とクルマ」遺された親からのメッセージ」

今年度も、本校生徒の交通安全に対する意識の向上をはかることを目的に、生徒会風紀委員長主催の交通安全集会在、五月二十一日(水)第一アリーナで行われました。

今年度は、講師に「北海道交通事故被害者の会」代表・「スローライフ交通安全教育の会」会長であり、「命の大切さを学ぶ教室」の外部講師、前田敏章氏(札幌

生徒感想文より

一年 坂田 愛佳
(下音更中学校出身)

今回、前田さんの講演を聞き、改めて家族の大切さ命の尊さを知ることが出来ました。

私は今まで家族がいることは普通で当たり前のことだと思っていました。家族の誰かが事故に遭うということをして…当たり前だっただけで無くなってしまふというのを。考えただけでも辛い、悲しいのと同時に、どこかに穴が空いたように淋しい気持ちになりました。

だから、車優先社会はだめだと思いました。車は確かに便利です。だけど一歩間違えれば取り返しのつかないことになりま

す。「車優先社会を変えること」それは私達のように若い人たちが先頭に立ち考えていかななくてはいけないことだと思いま

一年 房川 隆貴

(池田中学校出身)

講演を聴き、自分の夢に向かって精一杯邁進していた日々が、



9月22日に行われた秋の交通安全運動の様子

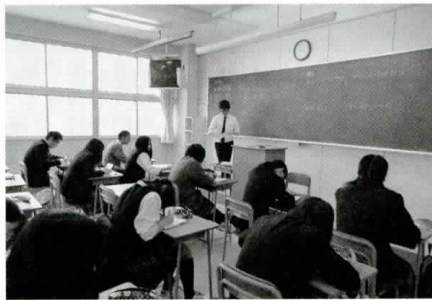
夏期講習・放課後講習

「充実した白樺の講習会」

進路指導部 春木 雄一郎

白樺学園高校進路指導部では、生徒の進路実現のための学力向上を目的とした各種講習会を実施しています。

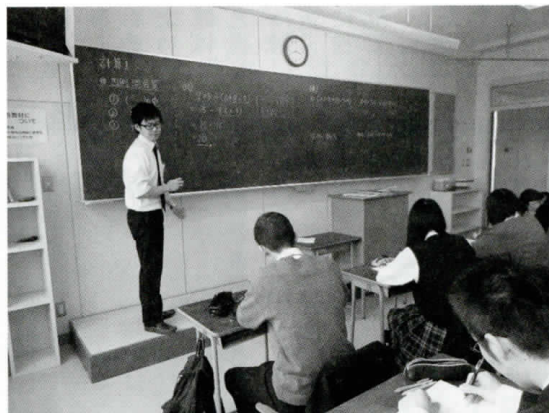
中でも、昨年度より本格的に行っている放課後講習会では、学年や進路希望に沿って、週三回きめ細かい指導を行っています。



高一コースでは少数ですが、難関国立大学を目指す生徒もおり、各教科のスペシャリストの教員が親身な指導を行っています。

そして、長期休みに行われる春期講習会、夏期講習会、冬期講習会では実際に問題を使った入試問題などを用い、知識の総整理を行います。

今年度の夏期講習会では全コース合わせて五十八名の生徒の申し込みがあり、それぞれの目標に向かって必死に努力する姿を沢山見ることができました。夢は黙って待つ



ゲートボールコート完成

芽室町教育委員会のご支援により、昨年八月、本校テニスコート北側に縦十五メートル、横二十メートルのゲートボールコート一面が完成しました。

本校ゲートボール部は、芽室町ゲートボール協会の皆様のご指導により、今年度は埼玉県熊谷市で行われた全国ジュニアゲートボール大会に出場し、女子が初のベスト8という結果を残しました。

ご支援ご協力、ありがとうございました。



悔いのない未来のために

藤村 祥子 さん

平成17年度体育コース卒業。美幌町立美幌中学校出身。日本体育大学卒業後、医療法人社団宝来中央歯科にて競技を続ける。2014年ソチオリンピックで、スピードスケート女子3000/5000メートルに出場。



こんにちは！約十年前に白樺学園を卒業して、現在音更町の宝来中央歯科に支援していただけてスピードスケート競技をさせていただいておられます。藤村祥子です。私事となりますが、冬季オリンピックの際は白樺学園高校の皆様をはじめ、十勝の皆様がたくさん応援をいただき、全力で滑ることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。今回のオリンピックでは、皆様のご期待に沿う結果は出せませんでした。世界は強さを目の当たりにして、視野が広がりました。トップ選手との差を埋めるため、これから更に精進していきます。私が白樺学園高校に入学したのは、スピードスケートという競技を続けていく上で最高の環境が整っていたことが

大きいです。高校生活が始まってからは、部活だけでなく、授業内容、課外授業、各行事等から多くのことを学びました。もちろん楽しいことばかりではなく、テストや部活動など辛いこともありましたが、私は三年間の高校生活で、基本的な挨拶、礼儀、かけがえない友人を得ました。私が大学に進学し、社会人になって強く思ったのは、高校生の時にしかできないことってたくさんあるって事です。現在在学中の皆さん、高校進学を控えている皆さん、今の自分にしかできないことを見つけて、これから先の未来の自分を後悔することのない道を、自分の行動、言動に責任をもって突き進んでいくって欲しいです。皆さんのスクールライフに幸あれ！

平成25年度卒業生 進路状況

進学・教養コース

道内国立大学	
釧路公立大学	1
道内大学	
北海道情報大学	1
道内短期大学	
帯広大谷短期大学	3
道内看護学校	
北海道医療センター附属札幌看護学校	1
帯広市医師会看護高等専修学校	1
高技専	
北海道立帯広高等技術専門学院	10
道外専門学校	
ミス・パリ・ビューティ専門学校	1
道内専門学校	
青山建築デザイン・医療事務専門学校	4
札幌青葉鍼灸柔整専門学校	1
専門学校 札幌マンガ・アニメ学院	1
美芸学園専門学校	1
北海道芸術デザイン専門学校	2
北海道情報専門学校	1
帯広調理師専門学校	3
帯広コア専門学校	1
公務員	
自衛官候補生	2

管内就職	
株式会社 柳月	2
株式会社 クランベリー	1
道東電機 株式会社	2
十勝葉山電器 株式会社	1
auショップ帯広大通 (株式会社 ネオウエーブ)	1
UTエイム株式会社	1
帯広電子株式会社	1
株式会社 晃陽燃料	1
株式会社 エムデジ	1
株式会社 ダイイチ	1
株式会社 ハイパーネット	1
株式会社 福寿草	1
株式会社 北海道ライフサポート	1
株式会社 マックハウス	1
社会福祉法人 清水旭山学園	1
東陽製袋株式会社	1
正木歯科診療室	1
山田機械工業 株式会社	1
コスモ警備 有限会社	1
有限会社 道栄自動車工業	1
ユート運輸倉庫株式会社	1
道内就職	
株式会社 カネマツ 札幌支社	2

体育コース

道外大学	
早稲田大学	1
関西学院大学	2
明治大学	3
日本大学	2
中央大学	1
国際武道大学	1
拓殖大学	1
つくば国際大学	1
東洋大学	1
明星大学	1
山梨学院大学	2
和光大学	1
道内大学	
北海学園大学	1
札幌大学	2
札幌学院大学	1
北翔大学	1
東海大学 札幌キャンパス	4
北海道文教大学	1
道内看護学校	
旭川医師会看護専門学校	1
道内専門学校	
経専北海道観光専門学校	1
経専北海道どうぶつ専門学校	1
専門学校 北海道体育大学校	2
北海道美容専門学校	1
北海道メディカル・スポーツ専門学校	1
吉田学園医療歯科専門学校	1
吉田学園情報ビジネス専門学校	1

高技専	
北海道立北見高等技術専門学院	1
公務員	
日高西部消防組合	1
自衛官候補生	4
管内就職	
六花亭製菓 株式会社	1
株式会社 北海道畜産公社 道東事業所十勝工場	2
有限会社 協和ミート	1
株式会社 明治 本別工場	1
ネットヨタ帯広 株式会社	1
株式会社 サトウ	2
株式会社 鉄建	1
株式会社 福原	1
社会福祉法人 清水旭山学園	2
東陽製袋株式会社	1
西富産機 株式会社	1
有限会社 帯広配送	1
有限会社 流通サービス	1
道内就職	
北海道旅客鉄道 株式会社	3
株式会社 カネマツ 札幌支社	2
道外就職	
東北フリーブレイズ	1

採用試験を受ける際に重要な

その状況と似ていることに気が付き、勉強にも必ず通ずるものがあるのだと確信しました。勉強を重ね、教員採用試験を受ける際に重要な

そんな時に思い出したのは、陸上部の部活のことでした。コートには自分の練習だけを見ていただけのわけではない。そもそも自分と同じ種目(投てき)を選んでいる人が少ない状況。そんな中、いつも私はどうすれば記録を伸ばせるのかを考えてメニューをこなしていたことを思い出したので

視した。それは、部活と同じく「他の誰よりも」努力をすることでした。大学院に通う傍ら、毎日四時間も採用試験の勉強をする者はいないはず。毎日二時間会話のトレーニングをする者はいないはず。



佐藤 晃紀 さん

平成18年度体育コース卒業。陸上競技部に所属。広尾町立広尾中学校出身。札幌大学大学院修了後、現在、札幌市立札幌中学校にて、英語科教諭として勤務。

「人生に志を持ち、誰よりも努力を怠らないこと。」これが私から皆さんへ宛てるメッセージです。成功が努力より先に出るのだから、辞書の中だけなのだから。

今思うと、私の言動の源は白樺学園にあるのかも知れません。「人生に志を持ち、誰よりも努力を怠らないこと。」これが私から皆さんへ宛てるメッセージです。成功が努力より先に出るのだから、辞書の中だけなのだから。

しかし、教員になってからは辛酸をなめる毎日。生徒との衝突もひっきりなしにあり、時には諦めたくなることもあり。そんな時、高校の時の担任の先生がおっしゃっていた言葉を思い出します。「俺はお前らに嫌われようと、憎まれようと、正しいことは正しい、間違っていることは間違っているって言うからな。」

最終的に選んだ会社は、受験する同級生が他にもいたので、「二人で受かるう！」という気持ちで刺激し合って、対策に取り組みました。面接練習は、同じ答え方をしても、人によって

先輩からのメッセージ



杉田 遥香 さん

平成25年度進学・教養コース(教養選択)卒業。帯広第二中学校出身。現在、株柳月にて勤務。

視野を広げ、自分の想いを伝えよう

Q 現在の様子を教えてください。 A 笑顔で元気であることを意識して接客しています。お客様にも「元気だね」「フレッシュだね」と言ってもらっています。「若い人にはどんな商品が喜ばれるかしら」とおっしゃるお客様には、自分が社会人一年目であるというを生かし、商品をおすすめしています。そうしてお客様に喜んで頂けた時や自分の名前を覚えて頂けた時は本当に嬉しいです。

Q 試験当日はどうでしたか。 A 当日の朝まで、自己PRで悩んでいて、履歴書に書いたことは文書として既に伝わっているのだから、プラスαのことを自分の口から伝えたいと思います。試験の前に学校に寄り、担任の先生と内容を新たに作り直しました。その結果、自分の想いを十分に伝えることが出来て良かったです。

Q 就職するにあたり、どのような準備をしましたか。 A 企業説明会にはできる限り参加しました。私は、接客業を希望していましたが、希望とは別に様々な会社の説明会に参加することで、「自分の希望(接客業)が、やっぱり自分に合っている」と確認することができました。

Q 先輩へアドバイスをお願いします。 A 自分の希望だけで就職先を選ばず、まずたくさんの方の会社、様々な職種の説明会等に参加し、視野を広げて欲しいと思います。また、たくさんの方と関わることで、自分の強みや良さが見えて来ると思います。自分へのアドバイスは素直に受け止め、感謝し、就職活動に生かして欲しいです。